

月刊 キングラン通信

2012年
6月号

父の日のプレゼント

こんにちは、「月刊キングラン通信」編集部
の原田です。6月といえば、父の日ですね。
皆さんは何かプレゼントしたり、プレゼント
されたり、しましたか？ 浜松の遠鉄百貨店
では、父の日のプレゼント用に、おしゃれス
テテコのコーナーがにぎわっていました。

そんな私にも3歳の息子から嬉しいプレゼ
ントがありました。それがこれです↓



幼稚園で作ったてんとう虫の小物入れです。
何やらよく分からない絵が描いてありますが、
どうやら僕の顔のようです。何であっても、
手作りって嬉しいものですね。

【カーテン雑学講座】

カーテンの歴史を紐解いてみました

カーテンのルーツ

カーテンの語源は、ラテン語で覆うことを
意味する「Cortina（コルティナ）」だと言わ
れています。古代エジプト文明の時代には、
プライバシー保護や寒さしのぎのために、ベ
ッド廻りを布で覆っていました。現在見られ
る天蓋付きベッドの起源でもあります。



実際にカーテンが使用されている様子が伺える最古の例は、ローマ時代の絵画の中です。カーテンは耐用年数が短いため、当時のものは現存していません。現在のように窓に使われることは少なく、壁

の装飾や室内の間仕切りに使われていました。
14・15世紀にヨーロッパでガラス窓が
登場すると、カーテンが窓の装飾品として使
われるようになります。

現在のカーテンの原型は19世紀のもの

ルネサンス期を経て17・18世紀のバロッ
ク時代に入ると、華麗な装飾の施された重厚
感のあるカーテンが流行し、ロココ時代には
繊細で優雅な生地が評価を得ました。



現在のカーテンの形式が成
立したのは19世紀後半。産
業革命以後、いわゆるアール
ヌーボー時代に、カーテンに
「上飾り」がつくようになり
ました。この様式が基礎となっ
て、現在の様式に発展したと考
えられています。

調べてみると、カーテンの歴史は装飾品と
して発展してきたものでした。病院のように
間仕切りの役割を果たしているのは、むしろ
初期のカーテンに近いとは、驚きました。

※カーテンの歴史に関しては文献がほとんど無いため、インターネット等の情報を利用しております。あくまで参考程度にしてください。

【今月の PICK UP ! 社員】

営業サポート ★鈴木 佳恵★

社内で最も「ありがとう」を集める女

当社にお電話を頂いた方はひょっとしたらお話をしているかもしれません。営業サポートの係長、鈴木佳恵を PICK UP します。



当社では年に1～2回、社内でお世話になった社員に感謝の意を伝える「サンクスカード」という機会があります。約40名で、200～300通のカードが交わされますが、社内で一番「ありがとう」を集めているのが彼女。写真にもある通り毎回たくさんのカードを受け取っています。

鈴木は、当社でもベテランで、社内のことはほぼ何でも分かります。しかも周囲への目配りがピカイチで、困っている人がいたら何も言わずに手助けをしてくれる。「ありがとう」クイーンで居続けるのもうなずけます。



【今月のいいね！画像】

やっちゃいました…



カーテンレール工事での出来事

ある病院様にて、カーテンレール取付工事の手伝いをしていました。基本的には当社の技術スタッフが手早く付けてくれるのですが、私も最近是一緒に工事を手伝います。

天井にカーテンレールを取り付ける時は、天井の下地にビスを打って固定しますが、この下地がこの現場は非常に固く、かなり力を要する作業でした。

なんとか作業は終了し、帰路についたところ、あれ、右手がうまく回らない…！？翌日外科に見てもらったところ、右手首の軟骨が疲労気味で損傷している可能性があるとか。

営業なんだか、患者なんだか、

結局、1週間程度で治ると言われ、手首をひねらないようにギプスで固定されました。大したことないわりに結構目立つ処置に。

動きづらいものの、カーテン取り付け程度はこなせるので現場に出ました。が、行く先々の病院で「お大事に」と声をかけて頂きます。営業か患者か、紛らわしくてすみません。

Facebook に写真を UP してみたら、「いいね！」がすぐさま40件を超えました。良かったのか、悪かったのか…

早く治して、もっと現場を出来るように鍛え直そうと思いました。

【とある病室から】

メンテナンス部隊は当社の誇り

カーテン交換に伺うメンテナンス部隊

当社には8名のカーテン交換スタッフがいます。彼らは病室・居室に伺ってカーテン交換をしています。彼らは厳しく教育され、また日々改善を真剣に行っているだけあって、テクニックと気遣いはピカイチです。

私自身、入社した時に何度か同行したのですが、現地での挨拶に始まり、病棟の廊下での荷物の置き方、病室での対応、衛生面の配慮など、非常に厳しいルールが敷かれており、「ここまでやるのか」と自社社員ながら感心した経験があります。

緊張感ある現場

先日、とある病院様から新たにカーテン・ロールスクリーンのクリーニングの依頼がありました。何でも、前のクリーニング業者は現場からクレームが多く、これ以上対応出来なくなってしまったのだとか。

前の業者との内容の比較になる、緊張感のある現場で、かつ担当者の方も前業者で現場からクレームが出たこともあり、非常にナーバスになっておられました。

全員集合。担当者の方の一言…

当社としては、前業者の内容を知っているわけではないので、これまで通りにやるしかありません。メンテナンススタッフは緊張感の中、いつも通りの作業を行いました。

2回目の作業で現場に伺った時の朝のこと。いつも通り準備をして病院内に入ろうとすると、担当者の方が待っていて、スタッフ全員が集合させられました。何かミスでもあったのか、一同緊張が走りました。そこで一言。

「現場からの評判が非常によかった！」

現場での対応・スピードに関して、病棟での評価が高かった、とのありがたいお言葉。わざわざこのような形で評価を頂くのは初めてだったので、メンテナンススタッフは驚いていたのですが、その話を会社に持ち帰って来た時、私は感動で涙が出ました。いつも黙々と地道に作業と現場改善を行ってくれている彼らを、心から誇りに思った瞬間でした。



※本社メンバー7名で撮影。右は沼津営業所専属のメンテナンススタッフ鈴木です。→



【今月のいいね！画像2】

はじめての運動会

「驚くほど遅かった！」

と言ったのは私の妻。先日、息子の幼稚園で小運動会がありました。息子にとっては初めて体験する競争なので、どうなることやらと親はハラハラでした。

よーい、スタート！ 他の子ども達は全力でトラックを1周していきます。が、我が子は全く闘争心なし。周囲をきょろきょろ見回しながら、カラーコーンに激突。廻りの応援に後押しされながらひょこひょこマイペースに走って、ようやくゴールしました。



「年少さんはこんなもんです、十分立派ですよ」と先生には言っていたようですが、秋の大運動会でこれはマズイと親は焦っています。早速、週末にかけっこの練習を始めました。

【今月の”実践”したくなる一冊】

ITを活用して安く効率化する

このコーナーでは、ビジネス・組織運営に役立ち、“実践”したくなるノウハウが満載の書籍をご紹介します。



『日本でいちばん社員満足度が高い会社の非常識な働き方』

ソフトバンククリエイティブ

山本 敏行（著）

2010年12月2日 発行

従業員満足度日本一！？

本書は、「従業員第一主義」の下、「お客に合わない」「10連休以上の休暇が年4回」「iPhoneを全社員に支給」等々、変わった制度・仕組みの数々が評価され『日本一社員満足度の高い会社』に認定された EC スタジオの代表、山本氏による経営ノウハウ書です。

「顧客に合わない」「会社に電話が無い」など、非常識とも思える方針があるのですが、それらは全て「社員が満足していない会社は顧客を満足させることはできない」という考えをベースにしているということで、その考え方をベースに自社の経営を見直すと様々なヒントが得られそうな一冊になっています。

使えるITネタが満載

著者の経営する EC スタジオの業務は、ITのメリットを経営に活かす「IT 経営」のノウハウを各企業に提供することです。最近では、Google や Skype など、個人利用出来る安価な IT 技術の進歩が著しく、これらを企業利用することで、安く、仕事を効率化出来ます。そのノウハウの数々を、「IT 経営実践会」という仕組みを通して発信しています。

「Google Apps」「プレイステーション TV 会議」「Skype チャット」「動画マニュアル」など、様々なノウハウを紹介しています。当

社では、テレビ会議を導入してみました。これにより、愛知の豊川本社と静岡の沼津営業所がつながり、毎月の会議時の移動が無くなりました。結果数万円の移動コストと時間の削減が出来ました。

ちょっとした仕組みを導入するだけで、本当に安く、場合によっては無料で効率化が出来ます。興味のある方は是非ご一読下さい。

編集後記

お客様の不安・負担を肩代わりしたい…

私たちの中核事業である「カーテン管理システム」には、施設のカーテンや窓廻りのこと一切の不安や負担を肩代わりする、という想いが詰まっています。そうすることで病院は医療に、介護施設は介護に、と本業に専念出来る環境作りを 30 年間行ってきました。

私、原田は前職は求人広告制作に携わってきました。今、医療機関・福祉施設の方々は人手不足の問題に頭を悩ませています。今後、キングラン通信を通じて、求人のノウハウを発信することを検討しています。私たちは、お客様の不安・負担の肩代わりをカーテンだけでなく、持てる力全てでサポートしていきたいと強く思っています。

キングラン通信編集部

原田 浩史



<発行>



キングラン東海株式会社

【本社】 〒442-0811 愛知県豊川市馬場町薬師 75 番地

TEL : 0533-89-4545 / FAX : 0533-89-2282

【沼津営業所】 〒411-0824 静岡県三島市長伏 83-3

コーポラス杉山V 1-A

TEL : 055-984-3636 / FAX 055-984-3637

【ホームページ】 <http://www.kingrun-tokai.co.jp/>